



大切な命！自分で守る  
ライフジャケットはあなたの命を守ります

しっかり見張って早めの衝突回避  
あなたの安全・家族の安心

# 海難ゼロへの願い

## 全国海難防止強調運動

平成21年7月16日～31日

主催／海上保安庁 (社)日本海難防止協会 (財)海上保安協会  
後援／総務省 文部科学省 水産庁 国土交通省 海難審判所 気象庁  
運輸安全委員会 (財)日本海事センター



# 海難ゼロへの願い

## 全国海難防止強調運動とは？

ここ10年毎年、約2,600隻の船舶が海難に遭遇し、これにより多くの大切な命が失われています。

全国海難防止強調運動とは、全国各地で官民一体となって、海事関係者だけでなく広く国民に対し、**海難防止思想を広める運動**です。

平成21年は、「見張り不十分又は操船不適切による衝突海難の防止」及び「海中転落した遭難者が無事生還するために有効なライフジャケット着用の推進等」を引き続き重点事項とし、運動を実施します。



訪船指導



啓蒙活動



人命救助訓練



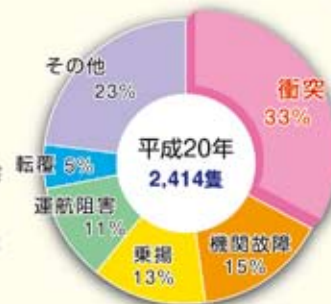
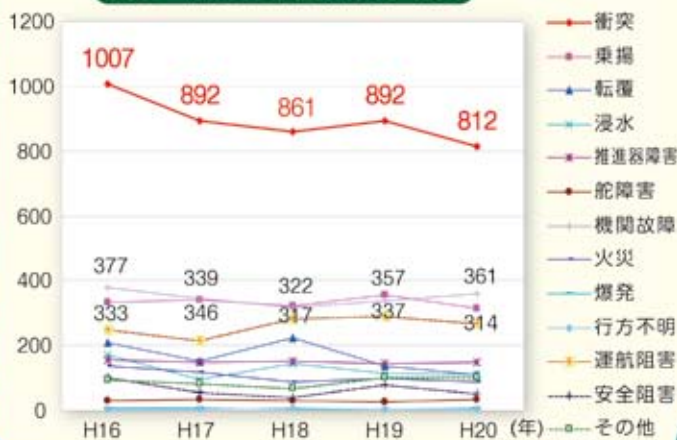
海難防止講習会

# 重点事項1

## 見張り不十分又は操船不適切による衝突海難の防止

○船舶海難の中で衝突海難が最も多く、その原因の8割以上は見張り不十分と操船不適切です。

過去5年間の海難種類別発生隻数



海難種類別発生率

しっかり見張って衝突海難を未然に防ぎましょう!



平成20年の衝突海難の原因

見張り不十分と操船不適切の原因がこんなに多いんだ。



船を動かすには、海の交通ルールを守ることが大切で、見張りについては、次のように規定されています。

船舶は、周囲の状況及び他の船舶との衝突のおそれについて十分に判断することができるように、視覚、聴覚及びその時の状況に適した他のすべての手段により、常時適切な見張りをしなければならない。

(海上衝突予防法第5条見張り)

## 衝突海難防止のポイント

- ・常時適切な見張りの徹底
- ・避航船は早めに相手にわかりやすい動作を、保持船も協力動作をとることの徹底
- ・無線や汽笛信号等を活用した船舶間のコミュニケーションの促進
- ・AIS（船舶自動識別装置）の有効活用



## 重点事項2 ライフジャケット着用の推進等

### ～ 自己救命策3つの基本～



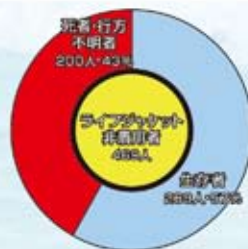
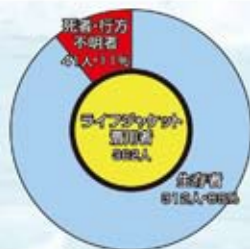
ライフジャケット  
は  
いつも着用してね!

携帯電話は  
**防水パック**に  
入れてね!



海のもしものは  
**118番**ね!

「海難による海中転落者」及び「船舶からの海中転落者」の死亡率



ライフジャケット  
を着用しないと  
死亡率は  
約4倍にも  
なるのね!

数値は、過去5年間(平成16年～20年)の平均値

## 全国海難防止強調運動実行委員会

(社)日本船長協会	(社)日本船主協会
(社)日本旅客船協会	(財)日本気象協会
日本内航海運組合総連合会	(社)大日本水産会
全国漁業協同組合連合会	全日本海員組合
(財)日本海事広報協会	(社)日本マリーナ・ビーチ協会
(財)日本セーリング連盟	(社)日本海洋少年団連盟
日本小型船舶検査機構	船員災害防止協会
(財)日本海洋レジャー安全・振興協会	(社)日本舟艇工業会
(社)日本水難救済会	総務省
水産庁	国土交通省
海難審判所	運輸安全委員会
気象庁	(財)海上保安協会
(社)日本海難防止協会	海上保安庁

## 海上保安庁へのお問い合わせは、最寄りの官署まで

第一管区海上保安本部	(小樽)	電話 0134-27-0118
第二管区海上保安本部	(塩釜)	電話 022-363-0111
第三管区海上保安本部	(横浜)	電話 045-211-1118
第四管区海上保安本部	(名古屋)	電話 052-661-1611
第五管区海上保安本部	(神戸)	電話 078-391-6551
第六管区海上保安本部	(広島)	電話 082-251-5111
第七管区海上保安本部	(北九州)	電話 093-321-2931
第八管区海上保安本部	(舞鶴)	電話 0773-76-4100
第九管区海上保安本部	(新潟)	電話 025-245-0118
第十管区海上保安本部	(鹿児島)	電話 099-250-9800
第十一管区海上保安本部	(那覇)	電話 098-867-0118



うみまる

うみん

JAPAN COAST GUARD

